

北斗だより

令和6年度 第3号
(5月31日発行)
愛媛県立今治北高等学校

『変わるきっかけ』

1年学年主任 川本 規博

新しい年度が始まって2か月たちました。新しい環境に少しずつ慣れてきましたか。

今年度も1年生は、中間考査前に強化学習会を実施しました。こんなにも集中して学習できるんだ、と私は大いに感心しました。自分だけでなくじけそうな時でも、クラスの仲間が頑張っている姿をみてやる気スイッチが入った生徒もいたのではないのでしょうか。「クラス全体で頑張っていく姿勢」を今後も持ち続けて行ってほしいと思います。

最近私が読んだ本の中に、次のような会話がありました。

「いつか、ある人にこんなことを聞かれたことがあるんだ。たとえば、こんな星空や泣けてくるような夕陽を一人で見ていたとするだろう。もし愛する人がいたら、その美しさやその時の気持ちをどんなふうに伝えるかって？」

「写真を撮るか、もし絵がうまかったらキャンバスに描いて見せるか、いややっぱり言葉で伝えたいのかな」

「その人はこう言ったんだ。自分が変わってゆくことだって・・・その夕陽を見て、感動して、自分が変わってゆくことだと思ってる。」

この考え方は、私にはすごく新鮮だったので載せてみました。

次に、教育実習に来られているみんなの先輩から、メッセージをいただいたので紹介します。

○ 稲本早夏先生（国語科） 私が常に大切にしていることは、人との出会いです。「袖振り合うも多生の縁」という言葉が意味するように、人との出会いは偶然ではなく、深い縁があつてのことだと思います。どんなに小さな縁であっても、それが未来に大きな変化を生むことがあるかもしれません。この先、まだまだたくさんの人との出会いが待っています。皆さんの人生がより豊かで彩りあるものとなるよう出会いを大切に、人との繋がりを深めていってください。

○ 正岡志穂先生（保健体育科） 私が日頃考えていることは、辛いことやしんどいときこそ「なんとかなる！」という精神で日々励んでいます。どんなことでも周りの人と比べてくなりますが、自分も自分、人は人です。自分らしさを大切に日々の学校生活を全力で楽しんでください。

○ 森彩乃先生（家庭科） 毎日、勉強や部活に頑張っていて、しんどくなることや嫌になってしまうこともあるかもしれませんが、大学生になった今、そのように勉強や部活等に一生懸命打ち込めていたのはとても幸せなことだったんだと思います。大変なこともたくさんあると思いますが、「今」を大切に、一度しかない学校生活を楽しんでください！

○ 富田稔也先生（商業科） 今治北高校での3年間、そして大学での4年間を通して、皆さんにはぜひ他の人に話せるような夢を持ってもらいたいと思います。私は、夢は口に出すことで実現できると信じています。目標をもって自分の夢を友達に、家族に、先生にぜひ話をしてみてください。

以上が4名の教育実習生からみんなへのメッセージです。

教育実習生にとって、北高生と接する中でたくさんの発見や感動があると思います。その感動が「変わるきっかけ」になるといいですね。

最後に、県総体が近づいています。すべての部活動が、そして特に3年生がすべてを出し切ることを願っています。可能性への挑戦へ向けて心よりエールを送ります。頑張れ北高生。

※お気付きの点や、御意見・御質問などありましたら、下に記入の上、お子さんを通じて担任まで御提出ください。

今治北高校の日々の様子をホームページに掲載しています。「今北日記」「部活動」など、ぜひ御覧ください。

今治北高等学校 学校公式サイト <https://imabarikita-h.esnet.ed.jp>

----- 切 り 取 り -----

____年 ____組 名前_____